

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○全職員が学校経営に主体的に参画し、児童や保護者、地域から信頼される楽しく豊かな学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感しながら、主体的に問題解決に取り組む授業を推進し、学力の向上を図ります。</li> <li>・一人ひとりの子どもが、自己有用感をもち、自他との違いを認め、大切にしながら安心して学校生活を送れるようにします。</li> <li>・小中一貫ブロック校や家庭、地域と連携して、地域の中できどもを育む学校づくりを進めます。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①児童会活動やペア活動等、異年齢活動をさらに充実させる。 ②地域や保護者、福祉施設との関わりを大切にするとともに、思いやりの心や自己有用感を味わうことができるようにする。体験活動を豊かに行うことを通して、集団や社会の一員であることを実感しながら、思いやりの心や規範意識を育てる。 ③子どもの実態をもとに特別な教科「道徳」の指導方法や内容を研究していく。
担当 道徳部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

子どもたちは穏やかで、落ち着いて生活することができており、地域や家庭の協力体制も整っている。自分から進んで関わろうとする意識も高まっているが、相手の気持ちを汲み取って行動することが難しい児童も多い。また、「あいさつを進んでしている。」と考えている児童は多いが、「いつでも、どこでも、だれとでも、自分から」という教職員の願いからすると、意識のずれを感じる場面も多い。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・年間指導計画を活用し、学校行事や各教科等、豊かな体験との関連を図った道徳科の指導を行う。
- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に公開する。(年1回以上)
- ・メンターチームの活動等を利用し、指導方法や教材活用方法を研修し、授業力を高めることで、主体的で対話的な道徳科の授業を目指す。

### 【項目 人権教育】「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校風土の醸成

- ・YPアセスメントの支援検討会による、教職員の人権感覚・意識の向上を目指す。
- ・子どもの社会的スキル横浜プログラムを全校で取り組み、子どもの自尊感情、コミュニケーション力、意思決定や問題解決能力の向上を図る。
- ・子どもの自尊感情を育成するために、「わかった」「できた」を感じられ、安心して自分を表現できる授業づくりに取り組む。